

明治安田生命柏支社エキサイトマッチ

我孫子ホームタウンサンクスデー

VITÓRIA

今季初の3連勝を手繰り寄せる サポーターへ歓喜を届けたい!

kashiwa Reysol Winning Guide

Vitória

ザイトーリア



Vol. 462

みんなで楽しいスタジアムをつくろう。
J1、J2、J3、全クラブ共通の観戦マナーです!



No Bottles or Cans
ビン、カン等の持ち込み禁止



No Fireworks, Smoke, Candles or Torii
花火、爆竹、発煙筒、ガスボンブの持ち込み禁止



No Throwing
フィールド内への投げ込み禁止



No Jumping Down to the field
フィールドへの飛び降り禁止



No Running
暴力行為の禁止



No Violence
暴力行為の禁止

2023
MEIJI YASUDA
J1 LEAGUE SEC. 28
2023.09.23 SAT

VS

アビスパ福岡



チカラを
ひとつに。
- TEAM AS ONE -



“6 ポイントマッチ”と位置付けた、横浜FCとの直接対決を2-1で勝ちきり、レイソルは今季初の連勝を挙げた。この勝利で8月から続く公式戦の無敗は8試合に伸びたが、後半の試合運びについては「2-0にした後に受けて回ってしまった。3点目を取りにいった試合を終わらせなければいけなかった」と古賀太陽は猛省する。前半の試合内容が良かっただけに、勝った中でも前節の反省点を改善して、今節の試合に臨まなければならない。

レイソルが公式戦8戦無敗を続けるのと同様に、対するアビスパ福岡は天皇杯とYBCルヴァンカップではベスト4に勝ち進み、リーグ戦を合わせた公式戦では5連勝中と絶好調である。堅守という特徴を維持しつつ、FW山岸祐也、FW紺野和也、MF金森健志、前線3人の運動性や、両ウイングバックを使ったサイド攻撃など、アタックのバリエーションも豊富だ。前節の名古屋グランパス戦でも試合終了間際に勝負をつけたのは、サイドアタックだった。

ただ、井原監督がアビスパ好調の要因として特に警戒を強めるのが、攻守において存在感を発揮するダブルボランチである。

「僕らボランチが反応して、セカンドボールを拾えるかで勝負が決まると思う。中盤の攻防は意識したい」

椎橋慧也がそう試合展開を見据えるように、球際やセカンドボールの攻防でレイソルの中盤が優位に立つことで、アビスパを上回りたい。目指すは今季初の3連勝だ。

クラブ応援プランで、レイソルの強化に協力しよう!

加入はこちらから ▶▶ <https://prf.hn/click/camref:1101139gT>



J1、J2、J3全リーグ戦を、 DAZNが配信。

STEP
1

アカウント登録
名前とメールアドレスを記入

STEP
2

お支払い情報登録
クレジットカード情報を記入

ご視聴スタート

Group Stage Group D							
順位	チーム	勝点	試合	勝	引分	敗	得失点差
1	福岡	13	6	4	1	1	3
2	鹿島	10	6	3	1	2	2
3	新潟	6	6	2	0	4	-2
4	横浜	5	6	4	0	2	0

柏レイソル VS アビスパ福岡

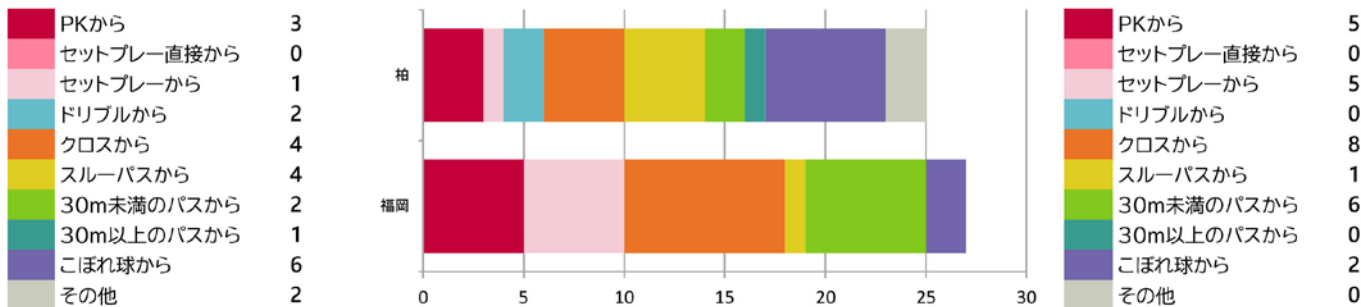
提供: データスタジアム

9月23日 三協フロンテア柏スタジアム

チームスタッツ



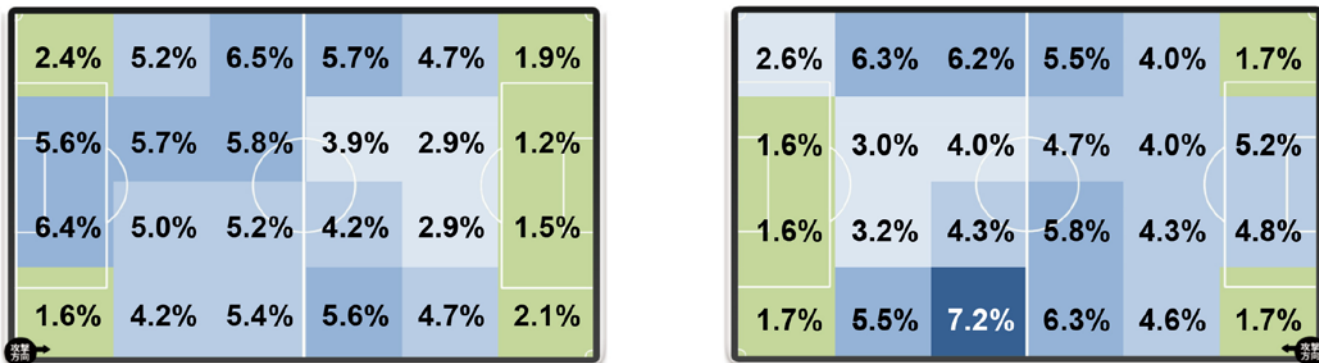
得点パターン



ランキング

ゴール		アシスト		ゴール		アシスト	
細谷 真大	10	マテウス サヴィオ	4	山岸 祐也	8	中村 駿	3
マテウス サヴィオ	5	片山 瑛一	2	ルキアン	4	紺野 和也	3
戸嶋 祥郎	3	山田 康太	2	佐藤 凌我	4	ルキアン	3
片山 瑛一	1	三丸 拓	1	ウェリントン	3	前嶋 洋太	2
小屋松 知哉	1	古賀 太陽	1	金森 健志	2	金森 健志	2
他3名		他3名				他1名	
セットプレー（出し手→相手ペナルティエリアでの受け手）				セットプレー（出し手→相手ペナルティエリアでの受け手）			
マテウス サヴィオ	→	椎橋 慧也	5	中村 駿	→	小田 逸稀	10
マテウス サヴィオ	→	片山 瑛一	5	紺野 和也	→	山岸 祐也	8
マテウス サヴィオ	→	犬飼 智也	4	湯澤 聖人	→	ルキアン	4
マテウス サヴィオ	→	ジエゴ	3	湯澤 聖人	→	山岸 祐也	3
マテウス サヴィオ	→	立田 悠悟	3	前嶋 洋太	→	山岸 祐也	3
他4ペア				他5ペア			

ホットゾーン



「前節の横浜F.C戦を振り返っていただけますか？」
「思ったよりも相手が（前から守備に）来なかったのが、ハーフウェーラインまでは簡単に超えられる状況になりました。そこからミツくん（三丸）と瑛ちゃん（片山）のサイドバックがスペースを突くという狙いは持っていました。横浜F.Cはスピードがあつてカウンターが得意なチームなので、そこを警戒しつつ、PKと相手のミス絡みで前半で2点を奪えたことが全てだったと思います」

「得点にはなりませんでした。細谷選手の惜しいヘディングなど、中央でダイレクトパスを使い、サイドへ展開してからのクロス攻撃も見られました。攻撃面の連携が向上してきた手ごたえはありますか？」
「もう少しチーム内で擦り合わせたいと思います。（細谷）真大やサヴィオは個人で打開できますが、縦パスを入れたときにサポートの量を増やせたら、もっと厚みのある攻撃ができると思いますし、外も空いてきます。井原さん、クリさん（栗澤コーチ）からの細かい指示もあつて攻撃の共有はできていますし、そこでミスしても前線のプレッシャーも速く、（山田）康太が頑張つて守備をしてくれるので、そこは継続していきたいです」

「一方、後半は横浜F.Cに押し込まれる展開になり、後半の試合運びには課題が残りました。」
「僕らがリードしたら横浜相手の背後を取るときに、GKのいる中央を狙うのではなくてサイドを狙うとか、前線の選手も無理にシュートを狙って相手ボールになるぐらいなら、角を取りにいって敵陣の深い位置でスローインにするとか、そういう試合の運び方はもっと徹底しなければいけないと思います。強いチームはそこが徹底されているし、勝ちにこだわるプレーは自分も含めてもつと全員が意識しないといけません。前に出てくるというのは想定していました。ハーフタイムにも、相手はホームで絶対に負けられないから勢いよく来るだろうという話をしていました。後半はもつとアグレッシブにいうとは言っていましたが、2-0でリードしていたのもあつて受けに回ってしまいました。相手は交代で特徴のある選手を入れてきて、簡単にボールを失い、相手にシュートシーンを作られてしまったことは反省材料です」

「具体的にその反省材料とは？」
「相手の背後を取るときに、GKのいる中央を狙うのではなくてサイドを狙うとか、前線の選手も無理にシュートを狙って相手ボールになるぐらいなら、角を取りにいって敵陣の深い位置でスローインにするとか、

FOCUS

6
MF

椎橋慧也

Keiya SHIBASHI



『これをやれば勝てるんだ』という気持ちになった

そういう試合の運び方はもつと徹底しなければいけないと思います。強いチームはそこが徹底されているし、勝ちにこだわるプレーは自分も含めてもつと全員が意識しないといけません」

——今節のアビスパ福岡戦に向けて。

「相手が5バックで来るのか、4バックで来るのかで変わりますから、相手のシステムに応じた戦い方が求められます。アビスパは前線にパワーのある選手がいるので、ロングボールやクロスを入れたときの競り合いで負けないこと、僕らボランチが反応して、セカンドボールを拾えるかで勝負が決まると思うので、中盤の攻防は意識したいです」

——8月以降、公式戦8戦無敗です。その間の失点は3。ここまで大きくチームが変わった理由は？

「中断期間の戦術練習で、井原さんから守備時にどこに戻るかを伝えられました。それをポジション別に整理できたことと、あとは再開初戦の天皇杯で北海道コンサドーレ札幌戦に勝てたことが大きいと思います。チームで『これをやれば勝てるんだ』という気持ちになりました」

——古賀選手が言うには、一度ポジションを取ってから守備に出ていくことで、その瞬間の移動距離は増えました。無駄に走らざれることがなくなり、チーム全体の守備の効率性が上がったとのこと。

「全体の距離感が良く、コンパクトに守れている分、奪ったときの選手同士の距離も近くて、速く攻めることができるようになりましたし、効率性はすごく上がりました」

——2-0の快勝を取った横浜F・マリノス戦は、まさにそんな試合展開でしたね。

「今は、選手一人ひとりが自分の後方を消しながら守備ができていますので、最終ラインの選手の負担は減ったと思います。今は真大と康太の二人が強度高く前線から守備をしてくれるのと、ワンくん（犬飼）が最終ラインに入つて、チームに安定感をもたらしてくれたことが大きいと思います」

——今季初の連勝を記録したとはいえ、予断の許さない状況は続きます。残りの7試合に向けて意気込みを聞かせてください。

「もちろん7試合、全部勝つつもりです。今の戦いを続けられ、負けない自信もあります。今のチームは、走力、切り替え、球際で崩れない自信がありますし、あとは攻撃のクオリティを上げればチャンスも増えると思うし、チャンスが増えれば得点も増えていくので、そこはこだわってやっていきます」

ハタメグミの お絵かき 日立台

れ、連勝だ〜! 調子のよいレイソルを見られる日々…しあわせ…!! 残り試合勝ちまくって順位もどんどん上げていきましょう! ゴーゴー!



Hitachidai gourmet

日立台カレー

今節のAWAYチームを喰い倒せメニューはこちら!
明太ソースのせ豚骨ポークキーマカレー
(温泉タマゴ付き) ¥900



豚骨スープを煮込んだポークキーマカレー。隠し味には花山椒を効かせ、コクもあり、さっぱりさもあり。明太ソースもある贅沢な一品と

なっております。是非、お楽しみください!

GAME INFORMATION

9/23福岡戦は『明治安田生命柏支社エキサイトマッチ』開催!!

当日は、ホームゲート付近の「明治安田生命特設ブース」にて、血管年齢測定とベジチェック測定を実施。また、アンケートに答えていただいた方には、スタジアム場内の飲食売店で使用できる500円クーポン券を先着500名様にプレゼントします。



さらに、試合前には柏駅前で、「シャレン!」で献血(献血会)を実施します。ご協力いただいた方には抽選でレイソルグッズが当たるチャンス! ゲストOBとして、元柏レイソル選手の長谷川 太郎さん、中島 崇典さんが14時から16時の間に参加されます。ぜひ献血へのご協力をお願いいたします。



設置場所: 千葉県赤十字血液センター 柏献血ルーム前特設ブース(みずほ銀行前あたり)
設置時間: 10:30 ~ 11:45、13:00 ~ 16:30 (予定)まで

イベントの詳細はレイソル公式HPよりご確認ください。

<https://www.reysol.co.jp/news/event/036099.html>

REYSOL Goods 2023!!!

9/23 アビスパ福岡戦 新商品ピックアップ

大人気の刺繍ロゴTシャツが長袖になって登場!!



刺繍ロゴ ロングTシャツ ¥4,400 (税込)

試合観戦や街歩きにも便利! スマホ紛失防止にも◎



スマホショルダー
¥1,980 (税込)

◀装着イメージ
接続パーツをスマホ本体とスマホケースの間に挟んで使用します。



☆詳しくはレイソル公式HPでご確認ください。
※数に限りがございます。品切れの際はご容赦ください。

◎おうちからでも買える! オンラインショップはこちら

<https://www.reysol-online.jp/index.html>

柏レイソルアカデミー・週末のスケジュール

9月23日(土・祝)

TR=トレーニング、TM=練習試合

チーム	内容	対戦相手	時間	場所
U18A	TR	-	10:00	-
U18B	TR	-	10:00	-
U15	TR	-	12:00	-
U14	メトロL	東急レイエス	10:00	國學院大学たまプラーザキャンパス
U13	関東L	FC東京深川	17:00	FC東京深川グラウンド
U12	LEGA	横浜F・マリノス追浜	12:45	日産自動車追浜総合グラウンド
U11	LEGA	横浜F・マリノス追浜	11:00	日産自動車追浜総合グラウンド
U10	TR	-	10:00	-

9月24日(日)

チーム	内容	対戦相手	時間	場所
U18A	PL	前橋育英高校	13:00	日立柏総合グラウンド
U18B	県L	検見川高校	9:30	東京学館高等学校
U15	関東L	東急レイエス	16:00	日立柏総合グラウンド
U14	TR	-	10:30	-
U13	TR	-	10:30	-
U12	TM	エクセレントフィート	9:00	日立柏総合グラウンド
U11	PL	ヴィクトリアス	9:00	日立柏総合グラウンド
U10	東葛リーグ	-	終日	我孫子ゆうゆう公園

※変更の可能性あり。ホームの見学は可能です。
今週末のスケジュールは https://blog.reysol.co.jp/youth/923_u18a_tr1000_u18b_tr1000_u15_tr200_u14_l_vs1000.php にてご確認ください。

#レイソルは 子どもとともに

柏レイソルとセーブ・ザ・チルドレンは、
子どもの権利を推進するための
活動を共に進めています

Reysol



Save the Children

横浜FC戦の前半38分、山田康太の三度にわたる前線からのチェイシングに連動し、右サイドで片山瑛一と山田雄士がプレッシングにかかる。「ただプレッシャーに行くだけでは意味がない。行くからには奪ってやろうと迫力を持って行った」と勢いを持って寄せていった山田雄士は、相手DFのミスを見逃さずにボールを奪い取ると、ゴール前に入ってきた細谷真大にパスを送った。

「角度がなかったんで、さすがにシュートは打たないだろうと思ってゴール前に入ってきました。ヤマ（山田）がGKをうまく引きつけてくれてよかったです」（細谷）



二桁得点 到達の先へ

Text by 鈴木潤
レイソルを中心に国内ユース年代から海外サッカーなどを取材。
日々柏レイソルを応援するHP「柏フットボールジャーナル」も運営。

パスを受けた細谷はインサイドキックでゴールへ流し込んだ。細谷にとっては、これが自身のキャリアハイ更新となる二桁得点到達となった。

「去年到達できなかった二桁得点を今年できたことは良かったです。ひとつの目標として二桁得点を目指していましたが、このタイミングで達成できたことに満足せず、もっと取れると思うので積み重ねていきたいです」

細谷はそう言って、今後に向けて得点量を誓った。

昨季記録した8得点はチーム最

多の数字ではあったものの、シーズン終了後に「チャンスは多かったんで、もっと取れた」と振り返ったように、本人からすれば満足のいく結果ではなかった。それだけに、今季に懸ける意気込みも強かった。

この二桁得点到達の一因に、井原正巳監督はチームの戦い方を挙げている。

「真大の攻撃力をチームとして最大限に活かして、彼のストロングを活かした攻撃の形をチームとしてもやっています。彼の得点数が増えたのは、そういう理由もあると思いますし、コンビを組む選手も真大の動き出しを見て、彼をうまく使うことができるようになったと思います」

ただ、先述の細谷自身の「もっと取れると思う」という言葉同様、指揮官もまた、「もっと決められたチャンスはあったと思いますし、もっと取れたと思っています」と言い、細谷の成長に期待を込めた。

井原監督が細谷に求める進化形態とは、どのような姿だろうか。井原監督が続ける。

「真大にはよく、『自分が出し手になるときのプレーの質を上げていけば、自分のチャンスももっと増える』という話をしています。そうなることで、相手のDFも読みづらくな

りますし、的を絞れなくなるので、そこでチームの得点だけでなく、彼自身の得点は増えると思っています」

細谷も「自分がチャンスを作るプレーには、まだまだ課題が多い」と正面から向き合い、課題の改善へと努めている。

とはいえ、リーグ戦7試合を残しての二桁得点は立派な数字である。レイソルの選手による二桁得点は、2020年のオルンガ以来3年ぶり。日本人選手に限ると、2015年の工藤壮人以来、8年ぶりだ。二桁得点をクリアした細谷が次に見据える目標は、その工藤を超えることだ。工藤が初めて二桁得点に到達したのは、同じくプロ4年目の2012年だった。その時の得点数は13。残りの7試合で「その数字は超えたいですね」と細谷は言う。また、2012年といえば、レイソルが天皇杯で優勝したシーズンでもある。出場停止で決勝のピッチには立てなかった工藤だが、準々決勝と準決勝では決勝点を挙げて、エースとしてチームを決勝戦へと導いた。

さらなる得点量産へ。リーグ戦の残り7試合と天皇杯へ向けて、細谷真大は“レイソルのエース”としての道をひた走る。

10/29川崎戦チケットは9/24（日）より会員先行、 10/1（日）より一般販売開始!!

チケットのご購入
はお近くのローソン・ミニストップ店
内Loppiで!



WE SUPPORT KASHIWA REYSOL 2023

ユニフォームスポンサー

HITACHI
Inspire the Next

Affrac

三井物産

日立システムズ

LAWSON

日立ハイテク

サンアド

Green:ech

GROUND CREW

アカデミースポンサー

Mitsubishi Motor

サンアド

Mibrid-Turf

CSR（社会貢献）パートナー

Save the Children

サブライヤー

YONEX

Coca-Cola

SADA

DMedical

クラブスポンサー

野村證券

大林組

鹿島建設

大成建設

清水建設

T-POINT

市進

hanshin

ICEBERG

CPFL

SEVEN PAK

日立産機システム

日立保険サービス

Astemo

J-COM

東亜建設

三井物産

市進

hanshin

ICEBERG

CPFL

SEVEN PAK

日立産機システム

花谷建設

AMC

akahi

柏レイソル

三井物産

市進

hanshin

ICEBERG

CPFL

SEVEN PAK

日立産機システム

日立保険サービス

Astemo

J-COM

東亜建設

三井物産

市進

hanshin

ICEBERG

CPFL

SEVEN PAK

日立産機システム

花谷建設

AMC

akahi

柏レイソル

三井物産

市進

hanshin

ICEBERG

CPFL

SEVEN PAK

日立産機システム

柏レイソルパートナー KASHIWA REYSOL PARTNER

柏レイソルでは「地域」と「応援」をキーワードに、クラブの活動理念にご賛同いただいた法人企業様を対象とするクラブスポンサー制度「柏レイソルパートナー」を設け、多くの企業様にご協賛いただいております。皆様の温かいご支援のもと、地域と一体となったクラブを目指してまいります。

日立産機システム
Sai
エイユーロジテム
オフィス神山
常陽商事
野田小型運送
日立建設設計
フルハシ商事
菓子工房 モン.シェフ
秋田運輸
柏フットボール

京橋アートレジデンス
コスモバス
多摩川電気
なつの製作所
アスタノート
柏二番街商店会
カナリーニョフットボールクラブ
助川工務店
ダスキンペリエール
テガサイエンス
塗師防

流通サービス
ミツウ堂
ユニホームサービス
FCアクティブ柏
SEPT
ヴィス泊柏99フットボールクラブ
風早レクトFC
柏駅前通り商店街振興組合
柏エフォートフットボールクラブ
柏商工会議所
柏マイティフットボールクラブ

柏ラッセルFC
柏レイソルA.A.TOR'82
柏レイソルA.A. 流山
柏レイソルA.A. 野田
木村ガラス
菊池社会保険労務士事務所
グーロクリイト
こがね整骨院
コナンテック
こまいぬブルワリー 柏ビール
桜田建設

サンアドパンス
芝園開発
新柏倉庫
スパークル
セントラル
創作料理 銀の趣
相鉄フレックスイン千葉柏
てらだデンタルクリニック
トイブドル専門ブリーダーのブードルライフ
南洲興業
ヒガキオートサービス

ボックスウッド
八木歯科医院
ヤノハウスコート
山猫屋珈琲店